

2009年8月25日

保護者各位

尚絅学院大学女子短期大学部附属幼稚園

みんなで防ごう新型インフルエンザ

夏休みの間、子どもたちはご家族の皆さんと思う存分遊ばれたと思います。みんな元気に登園しました。

さて、夏だというのに新型インフルエンザは全国的にますます猛威をふるっています。

当初は従来のインフルエンザと同程度の症状と思われていましたが、6歳以下の子どもの一部に脳症に至る例が出てきました。すでに国内で7例が報告されています。インフルエンザにかかって急激な高熱の後、突然、けいれんが続いたり、意味不明の言動や意識障害を起こすとのことです。その上、脳症にかかると約25%に脳性まひなどの後遺症が残るとの報告があります。また、一部の解熱剤は脳症を重症化させる場合があるとのことで、日本小児科学会は、自宅の置き薬を服用したりせず、必ずかかりつけの医師に相談するよう呼びかけています。

新型インフルエンザは今後も大流行が予想されますがワクチンの製造が間に合わないため当面は体調管理と手洗いうがい、マスクの使用、発症した場合は自宅待機などで乗り切るしかありません。

登園に当たっては体調をよく観察し、異常や発熱があった場合は感染の広がりを避けるためまずは医療機関を受診して下さい。その上で医師の指示に従って登園の可否を判断して頂きたいと思います。

また園に御用の方で咳や発熱の場合は来園を自粛し、電話、ファックス、メール等でご連絡ください。来園された方は玄関にある手洗いや消毒液で手を洗ってからお入りくださるようお願いいたします。

大流行が予測される季節を迎え、皆様には大変なご迷惑をおかけしますが園児の健康を第一義に考え、どうか事情を察して頂き、なお一層のご協力をお願いいたします。